

コープあいちOB九条の会の活動報告

2022年2月26日

コープあいちOB九条の会世話人 寺本康美

1. 設立時（2014年）にめざしたこと

～2014年は集团的自衛権を認める閣議決定が行われて憲法改悪への具体的一步が踏み出され、憲法九条がないがしろにされる危機が進行した年。（2012年には自民党が改憲草案作成）
そういう中で、コープあいちの役職員OBで「九条の会アピール（2004年6月）」に賛同し、学習や情報発信を強め憲法九条を守る運動を広げていくことを目的としてOB九条の会の活動をスタートさせた。

※コープあいちでは副理事長が「あいち九条の会」の世話人に名を連ねている。

「あいち九条の会」は2005年1月に発足。当時のめいきん生協の理事長も呼びかけ人として参加した。

※「OB」という呼称は、あまり適切なものではないが便宜的に使っている。呼称の見直しについては今後の課題としたい。

2. 活動概況

～具体的活動としては、会としての学習会などの企画、ニュース発行(隔月)を通じた情報発信、OBの活動・近況交流、他の九条の会等との連携、毎月の世話人会の開催等を行ってきた。

※12月の年次総会を中心に行ってきた8年間の活動経過は別表（裏面）に整理

～組織のあり方としては、厳密な会員組織とせず、連絡可能なOBメンバー全員にニュースの配布、個別の企画への参加働きかけ等を行うようにして運動の広がりを追求してきている。

※OB（中途退職や定年退職等含めると）は53年の歴史の中では2000人ほどになるが、現在連絡可能な人（ニュースや案内を送っている人）は260人ほど。

パート等の人は今は対象にしていないが、「コープあいち九条の会」では対象にしている。

3. 九条を守る運動をすすめるうえでのOB（高齢者）の役割は大きい

～現在のOBの多くは戦争の終わった1945年の前後に誕生し、戦争の跡が色濃く残る時代に幼少年期を過ごしてきた人たちであり、生協に就職してからも「平和とよりよき生活のために」との想いに共鳴して活動してきた人たちであり、憲法を大切に思い守る意識と使命感の強い人たちである。

～コープあいちにとっても今後、OBは毎年増えていく。

～また今の日本においては高齢者（65歳以上）が3640万人（30%弱）いて、この人たちは昨年の総選挙投票結果（全体の投票者5890万人、投票率55%弱）をみても投票率70%前後で政治や選挙に対しても参加意識が高い人たちである。

※私の生まれた1948年は団塊の世代の真ん中で、268万人が誕生し（昨年の出生者数は80万人、今年の新成人は120万人）、2年前の統計では200万人が生存している。（現在は190万人ぐらいと推測）

<参考資料> コープあいちOB九条の会・8年（2014～2021）の活動経過

年	コープあいちOB九条の会 総会記念企画	コープあいち九条 の会との共同企画	くらしと平和・憲法を守る実行委 員会との共同企画
2014年	創立総会（12月） 「集団的自衛権の問題点」 （講師・矢崎暁子弁護士） 期中（2015年）のテーマ別学習会 ・名古屋空襲（大島良満さん） ・辺野古問題（小山初子さん）		
2015年	第2回総会 「沖縄料理と歌と話」 （沖縄県人会・與那覇・丹羽さん） 期中（2016年）のテーマ別学習会 ・安保関連法（シールズ東海の 海老原陽菜さん） ・自民党改憲草案（加藤弁護士）		
2016年	第3回総会 「生協と平和のとりくみ」 （講師・斎藤嘉璋さん）	・総会記念企画を 共催	
2017年	第4回総会 「生協と平和を考える」 （夏目理事長とヒロシマ参加職員）	・総会記念企画を 共催	
2018年	第5回総会 「沖縄の現状と平和の歌」 （講師・名市大 阪井教授 歌・嶋本ローラさん）	・総会記念企画を 共催 ・戦跡巡り・東区	・「平和・憲法を語るつどい第1回」 ・「平和・憲法を語るつどい第2回」 ・「憲法カフェ・その1・2・3」
2019年	第6回総会 「憲法と表現の自由を考える」 （講師・天野鎮雄さん）	・総会記念企画を 共催 ・戦跡巡り・熱田 野田味噌	・「消費税学習会・シンポジウム」 ・「水田洋さん、高橋正さんと平 和・憲法を語ろう」
2020年	第7回総会 「コープあいちの現状と平和・憲 法」（講師・森理事長）	・総会記念企画を 共催	・「オンラインピースリレーと斎 藤嘉璋さんの講演」
2021年	第8回総会 「創作講談・杉原千畝物語」 （講師・旭堂鱗林さん）	・杉原千畝記念館 と内堀会長訪 問 ・総会記念企画を 共催	・「核兵器禁止条約発効と市民社 会の役割」（講師・富田教授） ・冊子「平和とよりよき生活のた めに」編集・発行 ・「講談・杉原千畝物語」共同企画